



『良い椅子の日』宣言とは

コロナ禍の中で、地域の経済はマイナス影響を受けているが、コロナ終息に向けて静観して待つのではなく、できることは今から対策を講じておくことは重要なことである。テレワークが始まっており、特別な需要が見込まれる分野に「椅子産業」が挙げられる。会社から離れた自宅やその他の場所で、能率的で楽しい仕事を行うためには自分を支えてくれる最適な椅子を選択するか否かは大きい。

「大川 飛騨高山 旭川」と言えば日本の家具名産地の合言葉、旭川家具と言えば「旭川 東神楽 東川」、中でも東川町は旭川家具の生産の3割以上を占めている主要な産地である。椅子の需要を拡大するため、数年前から『椅子の日』の宣言に取り組んできていたが、職員の知恵で4月14日を選んだ。『良い椅子の日』と定めたのである。数字では414と並び「よいよ」と読め、右から左から、上から下から読んでも「414」、語呂合わせで「良い椅子」となる。人生で一番使い、喜怒哀

楽を黙って共有してくれるものは「椅子」かも知れない。だから自分に合った椅子を選ぶことには意義がある。

『良い椅子の日』は、「自分を支えてくれる椅子に感謝する日」、「自分の椅子を考える、選択する日（椅子は職業の総称でもあるので、将来の志を椅子に座って確認する日）」という意味合いを含む。「自分がお世話になった方などに椅子を贈る日（祖父母・父母・子ども・孫などにメッセージが刻印された世界でただ一つの椅子を贈る）」として定着させたいものである。自分の椅子に座って「テレワークなど楽しい仕事や学習、家族団らん、オンラインピックや日本ハムファイターズの応援、音楽を聞き、本を読む」など、椅子は自分を、家族を、地域を、日本を笑顔でハッピーにしてくれる。

全国のみなさんと4月14日を「良い椅子の日」として共有し、毎月14日を椅子の日として「椅子に感謝し、椅子を考え、椅子を贈る日」としたいものである。

新 謎解きはディナーのあとで(一般書)

東川篤哉／著 小学館／刊



警視庁に栄転した風祭警部は大きなミスをして国立署に舞い戻り、麗子の後輩に新人の若宮愛里が加わった新メンバーで難事件に挑む。本屋大賞第1位のユーモア本格ミステリー待望の新章スタート！富豪の家で“無人だった”はずの部屋から発見された長男の首吊り死体の謎（『風祭警部の帰還』）のほか、毒舌執事・影山の推理が冴えわたる全5編を収録。

父と暮せば(DVD)

販売元:バンダイビジュアル



原爆投下から3年後の広島。一瞬の閃光により目の前で父・竹造や愛する人たちを亡くし、自分が生き残っていることに負い目を感じ続けている美津江(宮沢りえ)は、原爆資料を収集している木下(浅野忠信)と出会う。彼に心惹かれながらも恋心を押しさえつけようとする美津江の前に竹造の幽霊が現れ、二人の恋を成就させようと励まし続けるが……。(99分)

貸し出し図書 ビデオ紹介

せんとぴゅあⅡ ほんの森

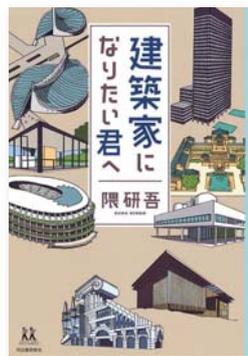
【貸し出し】

図書、紙芝居、雑誌は一人合計10点まで(15日間)
DVDは一人2本まで(8日間)

★本、DVDの蔵書リクエストもお受けしています

建築家になりたい君へ(児童書)

隈研吾／作 河出書房新社／刊



10歳の時に東京オリンピックで見た国立屋内総合競技場に衝撃を受け建築家を志した隈研吾氏。人間を知らない建築は作れない。「建築物は大きいけれど、その仕事は小さなことの積み重ねでできている。」東川町とのKAGUデザインコンペをはじめ、国内外で多数のプロジェクを手がける日本を代表する建築家が10代へのメッセージを綴る。